



イエスのカリタス友の会だより

43号 2023.12.24. 発行

A blessed Christmas to you!

心からの感謝をこめて、クリスマスと新年のご挨拶を申し上げます。

イエスのカリタス友の会の会員の皆さま、支援者の皆さま、いろいろな形でご協力くださっている皆さま、今年のクリスマスはいかがお過ごしでしょうか。

現在の社会は、戦争、テロ、紛争、民族闘争、様々な争いや差別、排除、偏見などにより、人が幸せに生きられる社会とは程遠い状況となっています。

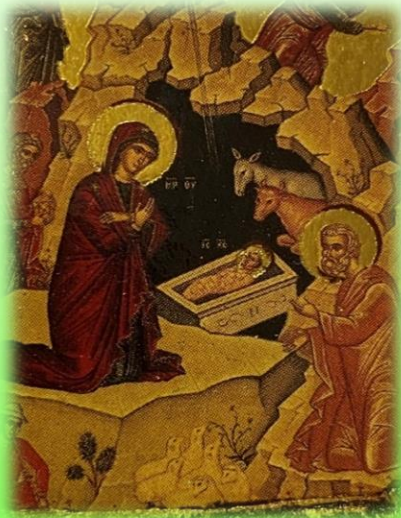
神である御父が独り子イエスをこの世に遣わされたことを信じる私たちは、イエスの誕生を記念するクリスマスを迎えて何を思い、祈り、行動することが大切なのでしょう。

“The Word became flesh, and dwelt among us.”

“ことばは肉となって、わたしたちの間に宿られた” —ヨハネ福音 1:14—

クリスマスには、飼い葉桶に寝かされた幼な子イエスが飾られます。それはイエスの誕生の再現ですが、国、文化によって様相は様々です。今回は、飼い葉桶のイエスの姿で私の心に最も響いて留まっているものを紹介したいと思います。それは、身体全体を白布でグルグル巻きにされた赤ちゃんの姿です。

私はこのグルグル巻きにされた幼子イエスをクリスマスのメッセージとして大切にしています（写真参照）。それはそのお姿が、私たちと同じ人間となってこの世にお生まれになったことだけでなく、イエスの死と埋葬までを連想させるからです。クリスマスに「死?!」と感じられるかもしれませんが、人となった神のみことばイエスは、人間と同じように生と死を体験されたのです。それは、ご自分の意志ではなく（グルグル巻きで自由に動けない）御父に従う姿であり、御父の心を生き、御父の声に聴き入る積極的な愛に根差した従順の姿に見えるのです。インマヌエル（神は私たちと共に）と呼ばれる私たちの神は、いつも共にいてくださるお方。飼い葉桶に眠るぐるぐる巻きの赤ちゃんの姿には、威厳や力、煌びやかさはないので、どこか天上にいらっしゃる方ではなく、私たちにより近い方として感じる事ができるのです。また、ご復活の時には、身体を包んでいた白い布は別の場所に置かれ、その後天に昇られていつでもどこでも私たちと一緒にいることができる存在となられ、私たちの喜び、希望、苦しみ、悲しみ、憂いも理解し、共に歩み留まってくださる神なのです。イエスのカリタス友の会の活動も静かに貧しい人、苦しんでいる人と寄り添い小さな光をいろいろな地に灯しています。この「友の会だより」から、現地の様子、感謝を汲んでいただけましたら幸いです。



グルグル巻きの赤ちゃんイエスは、騒々しく慌ただしく生きている私たちに、ただ一つ大切なこと、静かに沈黙して祈り、「神の思いを中心に置くこと」を教えてくれるのです。そして謙虚に毎日を生きることを・・・。

新しい年 2024 年が、皆さまお一人おひとりにとって、イエスが共にいることを毎日思い起す、「毎日がクリスマス」の一年となりますように。過ぎた年のすべてのご協力とご支援に感謝して、皆さまのためにお祈りいたします。

イエスのカリタス友の会
コーディネーター シスター浜崎昌子



フィリピンより



カリタス友の会会員、支援者の皆さまへ
 Maligayang Pasko at Manigong Bagong Taon!
 マリガヤンパスコ!

Merry Christmas and a Happy New Year!
 皆さまいかがお過ごしでしょうか。

「18歳以下は外出禁止」という未成年のためのコロナ隔離政策が日本より厳しかったフィリピンでしたが、今年度初めて100%の対面授業に戻りました。これまでオンライン授業で登校のために早起きする必要がなかった生徒たちが、早起きして朝7時から夕方4時までみっちり授業を受けるのですから、体調がもたない生徒たちが続出するということもありました。常に保健室は満床で、低学年の生徒の場合は半日も学校にいないのに、環境に適応できずに1~2か月で去っていく生徒が数名でいるという事態に見舞われました。それでも現在1250名ほどの生徒たちが元気に学校に通っています。神さまと皆さまのお祈りに感謝します。

一昔前、卒業式を迎える生徒たちが卒業前に行われるイベントで、自分たちの未来の姿を語るということが毎年恒例のように行われていました。ある年こんなストーリーがかたられました。いろいろな職業に就いて一人前になった自分たちが、母校(カリタス・ドンボスコ)の危機を間にしたら、問題解決のために一致団結して学校に集結し、その危機を

救う、と。そんな夢を語っていたことを思い出します。しかしながら、それもあながち夢ではなくて、少し現実的になってきました。去年1名、今年3名の本校の卒業生たちが先生として、また職員として2名、そして学校の校医と歯科医、顧問弁護士も卒業生、学校のメンテナンスのための技術者の人材を派遣してもらっている会社の社長も卒業生(本人はエンジニア)と、今年度は多くの卒業生が学校に関わってくれています。それもこれも本校創立初期のシスター方が、手取り足取り生徒たちと共に学校を作り上げてきたお陰です。シスター方の愛情を受け、ボスコニアン(サレジアン)として奉仕を惜しまない社会人となった卒業生たちが、何か自分たちにできるお返しをしようと、学校のために力を貸したいという気持ちを持って声をかけてくれています。

早いもので、本校も来年で創立30周年を迎えます。保護者の中にも数人の卒業生がいます。共同体のメンバーが代わり、学校のシステムや時代が変わっても、私たちがイエスのカリタス会員としてイエスのみこころの愛を人々と分かち合うことは変わりません。そのことを大切にしながらまた新たな年を迎えたいと思っています。どうぞこれからもお祈りご支援をよろしくお願いいたします。

サンタローザ共同体
 (Caritas Don Bosco School)



朝のお祈り全校集会の一部



マリア様の誕生の祝い

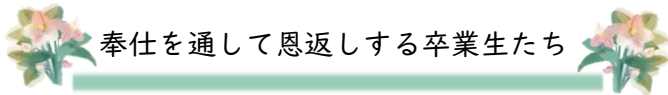


15年間に在籍した
 卒業生(大学生)来日



年度初め1ヶ月半の全職員研修会





奉仕を通して恩返しする卒業生たち

(母校に戻り、教育者として後輩たちを導いている
最も若い社会人卒業生からのメッセージ)

カリタス・ドンボスコスクールの目的は、常に奉仕するリーダーであるカリタス・ボスコニアンを育成することです。それは、他者、特に困っている人を助け、仕えることのできる若者たちです。“I Love, Therere, I Serve” というモットーは、カリタス・ボスコニアン一人ひとりの心に刻み込まれてきました。そして今日、私たちはこの愛と憐み（思いやり）の種がどのように花開いたかを目の当たりにすることができます。現在、高等部を卒業した CDBS の何人かの卒業生が、もう生徒としてではなく、教育者として、また学校の信徒宣教パートナーとして、再び青少年に奉仕するために学校に戻ってきました。なぜ奉仕の呼びかけに応え、母校に戻ってきたのかと尋ねると、彼らはカリタス・ボ

スコニアンらしくこう答えました。それは、自分たちが得た教訓や価値観を新しい世代の生徒たちに伝えるためです、と。恩返しと Pay Forward というテーマは、CDBS の卒業生たちの心や行動に顕著に表れています。卒業生たちは現在、高等部のさまざまなレベルで中学・高校の異なる教科を教え、それぞれの分野における知識と専門知識を伝えるだけでなく、在校生たちの模範となり、インスピレーションを与えて、若い学習者たちに誠実な市民であること、そしてサーバント・リーダーであることの真の意味を示しています。願わくは、もっと多くの生徒たちと卒業生が、それぞれのユニークな方法で学校に恩返しを、社会に貢献を（継続して支援して下さった友の会に対する感謝として）してほしいのです。本当にドン・ボスコは今日の世界でも生き続けていることを、カリタス・ボスコニアンの卒業生たちが示してくれています。

(2019年卒業高校教員 Mr. Ian Gabriel Mangulabnan)



南スーダンより



イエスのカリタス友の会の皆様へ
主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げます。
南スーダンのためにいつもお祈り、ご支援くださり、心より感謝申し上げます。

さて、2024年の新しい年を迎えようとしている現在、2012年から始まった南スーダンの使徒職はもう12年の月日が経ちました。2011年7月にスーダン国より独立し、南スーダン共和国として歩み始めた世界で一番若いこの国では、この12年の間に2度の大きな内戦がありました。特に今年は2回目の大統領選挙が行われる予定ですので、情勢が不安定になります。まだまだ、部族社会が強いこの国は、ひとつの憲法で皆が同じ方向を向いて歩いていくということには、まだまだ大きな課題があり時間がかかります。

そのため、国のリーダーの役割は大きく、生やさしいことではありませんが、教会、国連、NGO などと共に手を取り、国造りに頑張っています。わたしたちのサレジンファミリーの宣教の場も成長し、活発に活動しています。イエスのカリタス友の会は、宣教開始の時から継続的にご支援して下さり、他からの支援金と共に、カリタス診療所、子どもセンターの運営、食糧配布をすることができています。皆さまのお陰です。本当にありがとうございます。

近年、世界の多くの場所で悲しい出来事が起こっています。「キリストの平和が世界の隅々にまでいきわたりますように」という歌を口ずさみながら、2024年がそうなりますようにと祈りつつ。感謝の報告とさせていただきます。

南スーダン ジュバ修道院 一同



2013年当初のチルドレンセンターの子どもたち



2012年当初の診療所の祝別



2013年当初のチルドレンセンター



チルドレンセンター ラウダト・シのごみ拾い



チルドレンセンター 食事の野菜栽培



チルドレンセンター修了式



診療所



ブラジルより



イエスのカリタス友の会会員の皆様
主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。ブラジルからお便りを書かせていただいております。私がいる場所はユースセンターと養護施設があり、子どもたちのための社会福祉の奉仕をさせていただいております。ブラジルの政府も家庭支援、貧困、医療支援の政策を行っていますが、貧しい家庭が多く支援が行き渡らないのが現状です。ユースセンターの施設ではスポーツ、情報処理、絵画、英会話などの教室、また、昼食やおやつを提供しています。子どもたちは学校とは違った環境でのびのびと過ごしています。また養護施設では、様々な事情によって家庭で過ごすことができない子

ども達を一時的に預かり、家庭復帰を目指して子ども達や家庭の支援をしています。

皆様からの温かいご支援やお祈りは心強く、子ども達のために有効に使わせていただいております。この度は、子どもたちの食費の支援への申請をさせていただきました。ブラジルも他国と同様に物価上昇で食費を工面するのに大変です。皆様のご協力、ご支援に心から感謝いたします。私たちも、子ども達が未来に向かって心身ともに豊かに成長できるように関わって行きたいと思っております。神様の平和とお恵みが皆様お一人お一人にありますように。

ブラジル ユースセンター・養護施設
施設長 シスターマリア黒崎



昼食（マカロニサラダ）



調理室

イエスのカリタス友の会の皆様
主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます。

皆さまお元気でお過ごしのことと思います。
サンマテウスカリタス学園は今年創立 25 周年を迎えました。

パンデミック当時、多くの家族が COVID-19 に苦しんできましたが、それでも基本的に生活を立て直そうとしていた家族は、職を失うことにより結局、今日も経済的・精神的に悩まされています。友の会の温かいご支援により、続けて勉学に力を入れることができることを心から感謝しています。

私たちの社会教育活動は、教育者、保護者、支援者、友人など多くの人々が関わる公共集団の場として、カリタス・オラトリオ・プロジェクトを行い、土曜・日曜の週末に子供や若者を迎え、楽しく過ごすスペース

として学園を提供しています。また、家族への食料提供、家庭訪問、お菓子、衣服、おもちゃの寄贈などにも奉仕しています。日本で創立されたイエスのカリタス修道女会の会員である私たちは、初期のシスター方がなさっていたように、祈り働き、愛の奉仕、ボランティアや善意の人々の協力をいただき、自分の時間を人に捧げることを共に学んでいます。

お陰様で長年にわたり、友の会からの奨学金の恩恵を受けて家族・一人ひとりの人生を支援することができましたこと、友の会会員と支援者の皆さまに感謝の意を表したいと思っております。皆さまからの温かい寄付金は不可能を可能にしました。

神様が皆様の寛大なお心にお報い下さり、いつも温かく見守ってくださいますようお祈り致します。

ブラジル サンマテウスカリタス学園
シスタークリスチナ木村



奨学金を受けている子どもたちと家族



ボリビアより



ボリビア国

マンゴーがたわわに実った常夏のサンタクルスよりイエスのカリタス友の会の皆様へクリスマスと新年の喜びのご挨拶とお祝いと申し上げます。2023年もおガールファティマ乳児院の食費、おやつ一部支援と2名の職員の給与支援を継続していただき、子供たちの健やかな成長を見守ることができましたこと、心から感謝しております。

2023年はコロナ禍の緊急事態から脱出し、マスク着用が撤廃されて笑顔と会話が生で（直接）交わされる世界が戻ってきました。ほっとしたと同時に、戦争・紛争や気候変動という危機を実感した年だったように思います。また、「シノダリティ」ー今日の教会の宣教スタイルー共に歩む教会について学んだ年でもありました。フランシスコ教皇様は、アシジの聖フランシスコの記念日に、使徒的勧告「ラウダーテ・デウム」を発表して、共通の家を守るために、気候変動の危機を前に、世界に共同責任を呼びかけました。皆様も気候災害の現実と辛苦を体験されたことがあるのではないのでしょうか。ここボリビアでも、数年にわたりアマゾン地域で森林火災が断続的に発生し、多大な被害を及ぼしています。

2023年10月には、森林火災のため大気汚染が深刻となり、市民の健康を害するという事でサンタクルスの全学校が休校となり、マスク着用が奨励され、屋外での活動を自粛するようにと緊急事態宣言が1週間発

令されました。その間も、オガールファティマ乳児院の子供たちやカリタス学園の生徒たち、教職員、関係者一同、心身の被害はなく、活動を自粛して過ごしました。幸い雨が降って鎮火し、大気汚染も改善し安堵しております。昨年から、まだ初夏ともいえる10月に、40℃を超える暑さの日数が増えています。暑さが半端ではなく、オガールファティマ乳児院の子供たち42名（10月末）は、汗疹で苦勞していますが、水分補給をしながら元気に過ごしています。ただ、10月末に入所した新生児の2名の赤ちゃんたちは体温調整が難しく、発熱し、脱水になりやすいため、熱中症にならないように細心のケアに努めています。確かにサンタクルスの町々の通りは舗装され、緑地は建物に変わり、町の発展に伴い温暖化を加速させているようです。暑さに負けないよう、カピバラが生息している湖と砂丘のカピバラ公園（有料）へ、オガールファティマの子供たちと遠足へ出かけました。風速45kmのなか自然公園を散歩し、プールで水遊びを楽しみました。公立校1580名と私立校412名の生徒数のカリタス学園では、10月1日に公私立学校合同で、JPICに関するテーマのもと、「家族の集い」を企画実施しました。約2500名が集まり、共通の家を守るために何ができるか、家族そろって考える良き機会となりました。ボリビア宣教の始まりの地であるオキナワ日本人移住地の宣教は、毎月、事業所の仕事の合間を縫って、二つの支

部共同体が協力して、シスターたちが交代で数日出張して行っています。日本人への聖体奉仕・病人訪問、家庭訪問、ボリビア人へのSNSによる宣教、青年たちの集いなどを通しての、美しくも厳しい自然の中で暮らす素朴な人々との交流は、心が温まり宣教熱を駆り立てます。ところで、2023年4月から、1年間の宣教体験の機会を頂いた日本管区の若いシスターが、悪戦

苦闘の日々の中にも海外宣教の醍醐味を体験しながら、恵みの時を過ごしています。新しい年も、イエスのカリタス友の会の皆様の上に、神様の豊かな祝福の雨が注がれ、温かい御手が導き守ってくださいますようにお祈り申し上げます。私たちの心からの感謝と喜びの心を添えて。

ボリビア オガールファティマ乳児院
シスターユリアナ川下



オガールファティマ乳児院 食事



オガールファティマ乳児院 食事



オガールファティマ乳児院 おやつ



オガールファティマ乳児院 ロザリオの月に



オガールファティマ乳児院 11月墓参



オガールファティマ乳児院 遠足



ペルーより



ペルー アントニオ・カヴォリ学園
経済的苦境、学習障害児の就学支援申請 支援額 3,397 ドル
上記の額の支援を頂きましたことをご報告申し上げます。

イエスのカリタス友の会 会員の皆さま

いかがお過ごしでしょうか。南米ペルー共和国リマ市よりお便りさせていただきます。

今年の冬（6月から9月初旬）は暖冬で冬支度もしないまま過ぎましたが、春分の日（9月23日）を境に急に寒くなりました。世界各国で異常気象が起こっているようですが、ここも例外ではなく、山岳地帯のほうでは水源が枯れ、畑だった土地が売りに出されているようです。農作物も不作で物価上昇が続いています。このようなニュースを目の当たりにしながら、朝の集会の時に子供たちと一緒に祈りますが、子供たち自ら戦争や自然災害で苦しんでいる人たちの思い、意向を添えています。今頂いているお恵みに気付き、感謝しながら生きるよう歩みを共にしています。

ここアントニオ・カヴォリ学園がある地域はリマ市内でも治安が決して良いとはいえず、同じペルー人からも「あそこには行くな！」と注意をされる程です。先日一つの事件が引き金になりこの地域でペルー人とベネズエラ人との間で暴力闘争が起こりました。ベネズエラ人のグループが学校教育施設を狙うという声明を出し、事件が起こった中心一帯の学校ではオンライン授業での対応になりました。このような状況で警察も軍も出動し警戒態勢に入っています。外国からの移住民が、仕事がないうえに物価も上がり食にありつくために窮地に追い込ま

れているのではないかとすると、他人事としてすまされない気がします。

そのような中、神様のみ手に守られ、皆様からの温かいご支援を受けて子供たちは毎日元気に登校しています。以前のお便りから6月の父の日、7月のペルー独立記念日の行事に始まり多くの行事を通して子供たちの成長を垣間見ることが出来ました。今年卒業していく8名の6年生も率先して手伝ってくれるようになりました。その中に2人障害を持つ子供がいるのですが、2人がいるお陰で忍耐力、寛容さが養われ、他のクラスでは見られない協力する姿も見ることが出来ます。イエス様のように広い心で違いのある人を受け入れられるような人に育ってくれたらと願っています。

今月11月22日は創立者アントニオ・カヴォリ神父様の命日で学校の創立記念を祝います。子供たちはその日のために劇、ダンス、合奏等の準備で大忙しです。教科書では学べないことを学べる機会であり、子供たちの生き生きした姿を大切にしたいと思います。12月中旬には年度末を迎え、沢山の思い出を胸に巣立っていく子供たちです。今年も無事に1年が過ぎようとしています。皆様から頂きましたお心遣いに心から感謝いたします。奇跡の主が皆様の寛大なお気持ちに豊かに報いて下さいますように。

リマの聖女ローサ準管区
アントニオ・カヴォリ学園
校長 シスターヨハンナ林



祭日のご馳走作り



家庭訪問



熱帯地方に住む子どもたちと



民族衣装を着けた先生たちと



アントニオ・カヴォリ学園 6年生



アントニオ・カヴォリ学園 1年生



ベトナムより



イエスのカリタス友の会皆さま
いかがお過ごしでしょうか。

今回は、ベトナムでの宣教活動の様子を皆さまに報告したいと思います。私たちは今、サイゴン共同体とジャンラム共同体の2つの共同体で生活しています。サイゴン共同体では、所属している Bach Dang 教会と共同体から一番近い Trung Chanh 教会で、ジャンラム共同体では Giang Lam 教会で、毎日のミサでの聖体奉仕と日曜日の病人への聖体奉仕、教会学校のお手伝い、そして結婚講座（前回 16 組）や洗礼の勉強をしています。教会学校の子供の数は、Bach Dang 教会 900 人、Trung Chanh 教会 1,200 人、Giang Lam 教会 60 人で、日本では考えられない数の子供たちがいます。それに、Bach Dang 教会と Trung Chanh 教会は歩いて 10 分くらいの距離しか離れていません。どこの教会も、週に一度のカテキイジスの勉強と日曜日の朝と木曜日の夕方に子供ミサがあり、子供たちは教会学校の制服にクラスを示す、4 歳～6 歳ピンク、7 歳～9 歳初聖体前

は緑色、10 歳～12 歳初聖体後堅信前は青色、13 歳～16 歳堅信後は黄色、リーダーは赤色のスカーフをそれぞれ首に巻いて参加します。教会は子供だけで一杯で、聖歌や典礼奉仕もすべてリーダーの指示のもとに子供たちが担当します。

日本に十五夜の風習があるように、ベトナムにおいても伝統的な風習の一つである『中秋節』があります。これはベトナム語でテト・チュン・トゥーと言い、旧暦の 8 月 15 日に毎年行われます。中秋節に行う風習は灯籠や獅子舞が挙げられ、灯籠を持ち、お面を被り学校に行くと先生からお菓子をもらえることや親からもお菓子やおもちゃを買って貰えるため子供たちにとって中秋節は楽しい時期なのです。現代では子供のための日とも言われています。そのような子供たちのお祝い日には、教会でも楽しい企画が準備されています。ベトナムの教会の特徴の一つに、教会には地区ごとにグループがあり、教会とは別にそれぞれが自分たちの地区に祈りの家を持ち毎晩そこで祈りを捧げ

ています。シスター達もできるだけ地区の夕方の祈りに参加して信者さんと一緒にお祈りしています。お祈りは、毎日の福音の黙想とロザリオや十字架の道行きなどです。グループの聖堂の保護者のお祝い日には、祈りの家でミサが捧げられます。

9月からは近くにあるサレジオ会で行われているオラトリオに週に2回活動に参加し、共同体では、子供たちや若者に日本語を教えています。また、これからの教会活動の奉仕のために、カテケイジスの講習会、オルガンのレッスン、ベトナム独特の生け花の講習会を積極的に受講して、学びを深めています。

このように信仰生活が生活と一致して、信仰を生き生きと生き、子供たちも多く活気にあふれ希望のあるベトナムで、小さな歩みを始めた私たちですが、イエスのカリタス友の会の皆さまには、これからも私たちの活動を支え、導き、助けていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。私たちも、イエスのカリタス友の会のみな様のために感謝のお祈りをお捧げいたします。

イエスのカリタス修道女会 ベトナム共同体
代表 シスターマリア・コンチェッタ山田睦美



ドンナイ 教会の子ども達



ホーチミン 教会の子ども達



中秋節のお祝い



中秋節のお祝い



中秋節のお祝い



青年たちとキャンプ



スモールクワイアの CDご案内



1. 鹿のように
2. 恐れなくて
3. グレド(弱い者の信仰宣言)
4. Maria, vogliamo amarti
5. 光になろう
6. 永遠の愛
7. 足あと
8. Salve Regina
9. 聖霊(風)来てください
10. ささげうた
11. わたしをお使いください
12. Ubi Caritas
13. Tota pulchra es
14. おお聖ドンボスコ
15. 聖霊よ
16. 水を飲ませてください
17. 海をこえ 時をこえて
18. ひまわり



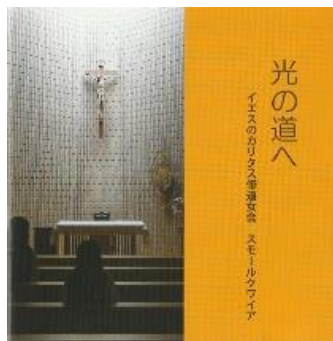
1. スピリット ソング
2. こころからの感謝を
3. 主よここに私が
4. 回心の祈り
5. 私の祈り
6. キリストの平和
7. 神様のぬくもりのしるし
8. 主は湖のほとりて
9. アーメンハレルヤ
10. 神様といつもいっしょ
11. Mi alma canta
12. I cieli narrano
13. Il Signore e il mio pastore
14. イエスとともに
15. 主と共に
16. 注がれた愛
17. 主の祈り
18. スピリット ソング



1. きみは愛されるため
うまれた
2. いのち
3. 主の呼ぶ声に従い
4. マリアの賛歌
5. この小さな人と共に
6. 愛のあかし
7. あたたかな光に
8. 隠された宝
9. キリストのからだ
わたしたちのからだ
10. イエスの願い
11. ともにひらこう
こころのとびら
12. いのちー永遠にー
13. Don't Be Afraid
14. 大切なあなたへ



1. 祝福の歌
2. Ubi Caritas
3. キリストにはかえられません
4. ここに愛が
5. いのち
6. 私は静かに神を待つ
7. 神は恵みとあわれみに満ち
8. Song of Blessing
9. Ave Maria
10. Madre fiducia nostra
11. 愛に満たされたマリア
12. 感謝の賛歌
13. ひとつになろう
14. すべての人の平和を
15. 神を讃えよう



1. 光の道へ
2. 主こそわが光
3. 恵の風に帆をあげて
4. オナジムネ
5. 神のはからは限りなく
6. アベ・マリス・ステラ
7. Pietà
8. 救いの右の手
9. 土の器
10. ひとりぶんの足あと
11. 聖霊のうた
12. どんなきもあなたを
13. 平和の祈り
14. 巡礼の歌
15. Chi ci separerà
16. あこがれのサン・パウロへ



1. Rorate Caeli · Veni veni,
Emmanuel
2. ゆうやみせまる
3. まきびと
4. あめのみつかい
5. しずけき
6. O Holy Night
7. ここに愛が
8. きたれ友よ · Adeste
9. きかせてください
10. きみは愛されるため
生まれた
11. いのち
12. 神のひとり子
13. もろびとこぞりて
14. ハレルヤクリスマス
15. きよしこの夜

使用済み切手整理



新型コロナウイルス感染症の心配もありますが、少しずつ日常を取り戻しつつある中、多くの方々のご参加で切手整理を2回（9月・11月）行うことができ、11月末に業者に送ることができました。

使用済み切手を送っていただきました皆様、整理にご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

今後どうぞよろしくお願いいたします。



日本切手	19.4 kg	15,520 円
外国切手	600 g	1,200 円
外国コイン	3.55 kg	3,550 円
合計		20,270 円

使用済み、未使用切手・書き損じはがき・外国コインの支援者

2023年6月21日～2023年12月5日（敬称略・順不同）

鈴木 裕子	倉田 昌子	立松 美也子	濱田 裕子	椎原 伊三男・園美
井上 正道	森川 のり子	長尾 庸子	濱田 悦子	錦織 紘子・妃都美
福島 美香	坂本 順子	村越 みどり	斉藤 禎子	梅津 尚志・久仁子
吉田 有美	椛沢 敦子	岡野 憲一	渋谷 琢磨	ディアッコ 亜紀
河野 由美	赤澤 進	山田 裕子	高田 和子	甲府ライオンズクラブ
森岡 多恵子	井手 順子	庄司 昌子	石井 房枝	カトリック下井草教会
小川 寛子	中谷 淳子	池田 寿美子	岩田 貴子	カトリック谷山教会
町田 房子	大平 智子	山田 久美	松本 保子	井荻聖母幼稚園
山縣 久美子	古川 由紀子	関根 由利子	福岡 亜紀	まりあ幼稚園
末武 恭江	谷川 京子	曾我 千瑳子	片山 久美子	ドン・ボスコ社
森 重子	堀 清子	村上 綾	小池 民恵	管区本部修道院
岩田 淳子	前田 明子	広田 三枝子	藤原 康子	井荻第2修道院
石井 多香子	武井 ちね子	嶺 英樹	潜竜修道院	松本修道院
東急建設株式会社本部人事部		宮崎県カトリック女性の集い		青梅修道院
ケアハウスかおり		デュッセルドルフ修道院		川南アントニオ修道院
上智大学カトリックイエズス会センター			カトリック長与教会女性委員会	高尾 恵子
大牟田天使幼稚園	田中 重治 神父様		横浜 Bay City ライオンズクラブ	足立 和夫

活動報告 バザー

碑文谷教会・調布教会・関町教会の3か所でバザーに参加させていただきました。各教会、久しぶりの開催ということで多くの方々が参加されていらっしゃいました。それぞれ久しぶりの再会などで賑やかなひと時でした。皆様からの温かいご協力、ご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

10月8日 碑文谷教会



10月29日 調布教会



11月12日 関町教会



バザー協力者

2023年6月21日～2023年12月5日（敬称略・順不同）

- | | | | | |
|---------|---------|--------|----------------|--------|
| 町田 房子 | 坂本 順子 | 松本 啓子 | 松本 保子 | 末武 恭江 |
| 佐藤 操子 | 岩田 良之 | 岩田 貴子 | 武井 ちね子 | 池田 寿美子 |
| 石井 房枝 | 武田 功・和子 | 曾我 千瑗子 | 木村 正子 | 佐藤 七津美 |
| 山縣 久美子 | 藤原 康子 | 谷川 京子 | 小坂 京子 | 竹内 紀美代 |
| 片山 久美子 | 濱田 裕子 | 花田 喜子 | 小川 寛子 | 関根 由利子 |
| 後藤 緑 | 岩田 純子 | 大平 智子 | 中谷 淳子 | 近藤 幸恵 |
| 広田 三枝子 | 石井 多香子 | 三宅 映子 | 宮脇 敬子 | 大滝 秀美 |
| 井手 順子 | 中島 君子 | 濱田 裕子 | 大八木 寿美子 | 坂詰 君代 |
| 佐々木 知重子 | 松原 久美子 | 中野 敦子 | 木村 喜美子 | 山本 清野 |
| 浦田 幸子 | 八島 厚子 | 東京修練院 | 白百合女子大学同窓会 | |
| 井荻第2修道院 | 宮崎修学志願院 | 潜竜修道院 | カトリック下井草教会手芸の会 | |

寄付支援者

2023年6月21日～2023年12月5日（敬称略・順不同）

佐藤 安英	坂本 順子	高平 有希歩	平沢 育子	矢野 順市・美雪
蜂谷 夕香子	宮島 智美	鳥居 孝一	山田 絹代	豊島 究・あんづ
池上 誠治	川口 栄子	常清 操子	武藤 浩子	西山 浩・クニ子
仲西 美佐子	森宮 孝子	小谷 尚子	池田 智晶	田畑 浩隆・美智子
一條 幸子	和田里 真弓	坂原 瑞穂	真島 智子	本村 哲也・久代
日高 英和	梶原 愛	中島 信明	久保 瑞穂	小林 昇・百合子
中村 妙子	青木 薫	弓場 なるみ	蒲原 容子	日宇 英之・スギノ
井川 輝美	丸小 めぐみ	梅田 知恵子	福島 美香	濱口 重孝・輝子
藤原 康子	阿南 ゆかり	枝 孝子	伊藤 紀子	松原 久美子
中村 富子	吉雄 直子	久松 政好	徳矢 貢一	百本 利子
国吉 光	赤澤 進	内田 健志	林 ヤヨイ	田中 恒子
柳元 美穂	高平 淑子	井上 英治	野坂 公夫	奥野 ケイ子
池田 寿美子	浜崎 てるみ	森 一	松本 尚也	亀山 敦子
関口 英子	横川 郁子	天野 雅子	洞口 優子	船木 靖子
堤 俊・久代	鍋内 初恵	アサイトモミ	増田 百合	山田 絹代
出口 登代美	八木下 泰博	山田 幸子	吉田 八枝子	小島 弓佳
吉川 寛幸	明石 嘉浩	久高 武	谷口 ひろこ	片山 久美子
松原 睦	小西 由美子	水野 朋子	刑部 敏子	海老沢 昭子
藤波 由美子	土岐 道郎	葛島 よね子	橋爪 史孝	和田 圭一郎
岡本 建介	藤嶋 史子	池間 初子	澤井 けやき	佐々木 謙一
岡田 京子	曾我 千瑛子	内田 千章	井上 進二	清弘 剛生
和久井 こまき	池田 アケミ	吉田 博	仲村 トミ子	藤井 由利
青山 樹	撰津 順子	養田 純子	三須 光好	松本 はな
北原 真理	岡本 智子	松山 篤則	小助川 絵梨子	松本 保子
後藤 英樹	河東 晴子	小林 一	本田 京子	加藤 寿美江
今村 知子	笠間 恵美子	柿沼 志津子	大泉 由美子	堀川 紘子
佐々木 明美	神保 朱美	中村 従子	仲田 敏子	佐々木 健太
唐木 武志	高島 晶子	柳田 みどり	Scholastica	横関 裕美
矢吹 典子	吉田 有美	白石 幸子	山田 裕子	松田 美智子
村田 洋子	佐々木 清幸	松井 由美子	鈴木 裕子	山縣 久美子
中田 澄江	古家 純子	里 美千代	島本 礼子	星野 亜紀子
長山 好子	内田 みわ	池田 あけみ	藤倉 和歌子	カトリック都筑教会
横澤 知子	古松 真理子	前田 信成	井萩聖母幼稚園	カトリック山手教会
田中 智子	シエモリ ノラ	福岡修道院	大村聖母幼稚園	カトリック調布教会
森岡 香梅	森宮 孝子	甲府修道院	東京修練院	カトリック掛川教会
友井 秀子	村田 昌子	別府修道院	東京修学志願院	カトリック碑文谷教会

松の寮	天使育児園	愛野修道院	管区本部修道院	カトリック下井草教会
宮崎県カトリック女性の集い		ノートルダム清心女子大学		カトリック関町教会
カトリック・カルメル会修道院		カトリック下井草教会手芸の会		聖アンナの園保育園
都城聖ドミニコ学園幼稚園		カトリック聖クララ幼稚園		テュッセルドルフ修道院

匿名希望の方も含め、多くの方々にご協力を賜りました。
心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



入会者（敬称略）

坂原 瑞穂 ・ 武村 奈緒子 ・ 船木 靖子 ・ 関口 英子 ・ 匿名希望者

毎月10日には、イエスのカリタス友の会の会員のためのごミサ（お祈り）が、
イエスのカリタス修道女会管区本部修道院聖堂において捧げられています。

どうぞ心を合わせてお祈りください。

イエスのカリタス友の会入会案内

イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う活動を、
財政的に支援する事を目的とするボランティアグループです。

会員の活動

任意の時期に、任意の金額を友の会に寄付します。（入会費・年会費はありません）
可能であれば、バザー、使用済み切手の収集・整理、その他の活動に参加、協力します。

個人情報について

入会時に受け付けた個人情報は、友の会事務局にて慎重に管理されます。同会会員に対しても公開は控えさせていただいておりますので、ご了承ください。尚、ご寄付・バザーの物品提供・使用済み切手の収集等にご協力いただいた際には、次回発行される「イエスのカリタス友の会だより」にお名前のみ掲載させていただいております。匿名希望の方は、その旨をお知らせください。

会員の資格

5年以上連絡がない場合、会員の資格は消失いたしますのでご了承ください。

入会について

入会ご希望の方は、住所・氏名（ふりがな）・電話番号をTEL・FAX・メールのいずれかの方法で事務局にお知らせください。入会希望を受けて、「イエスのカリタス友の会の規約」をお送りいたします。

友の会会員のために

毎月10日にミサを捧げ、ご支援くださる方への感謝と報告を兼ねて、年2回「イエスのカリタス友の会だより」をお送りしています。イエスのカリタス友の会の趣旨をご理解くださり、賛同してくださる方は事務局までご連絡ください。

（最終ページにあります）



事務局からの声



9月になったというのに真夏の様な日差しの暑い日、一人の青年の司祭叙階式が行われました。待ちに待った嬉しい日でした。司祭になって初めてのお説教。彼は2011年南スーダンでストリートチルドレンのお世話をしていました。一時帰国して数年後、同じ場所に行くとかつての子ども達は居ませんでした。聞いている私達は、辛い境遇から抜け出せたのね。良かった。と思いました。ところがかつての子ども達は路上で病気になるか死んだか牢屋で死んでしまった、との話でした。衝撃です。そこまで過酷な社会なのだと感じました。そんな弱い人や子ども達の為に奉仕したいと若い司祭は話して下さいました。この厳しい環境に背中を押して送り出して下さいましたお母様ありがとうございます。私達も心から応援したいと思いました。又新たに大人の争いによって辛い思いをしている子ども達が世界中には沢山居ます。私達は小さな犠牲をお捧げして祈りたいと思います。(K.Y.)

今年の夏はことのほか厳しい暑さが続きました。冬が訪れるのかと心配していましたがやっと冬の気配が感じられるようになりました。テレビでは連日イスラエルとハマスの戦争を報道しています。ウクライナとロシアの戦争も終わりが見えません。1000年以上続いたと言われている縄文時代は戦で亡くなった人がいないと聞いたことがあります。その時代まで戻らなくてはならないのかしらと生成Aiが話題となる今考えさせられます。生成Ai??の私ですが新しい年が平和となることを願っています。(Y.F.)

2023年も残り少なくなりました。毎日のように伝えられる国々の争い、民族同士の紛争、軍事侵攻など辛いニュースが続いた一年でもありました。聖地イスラエルとパレスチナの悲しいニュースは耳から離れません。わたしたちの救い主としてお生まれになる幼子イエス様をお迎えして、ご誕生を共に喜び祝い、新しい年が希望に満ちた平和な一年になりますように、心から願いお祈りします。(K.K.)

可愛い小4のY君、幼稚園児のAちゃんの母親がカリタスの園つばみの寮の赤ちゃんの頃、暮れからお正月、夏休みとお預かりして楽しい時を過ごしました。それから何年か過ぎ、良い里親さんに巡り合い、時を経て看護師さんになり、看護学校の同級生と結婚、2人の子供に恵まれ幸せな毎日を過ごしている。泣き虫なYちゃんと呼んでいた彼女も30代になり、つばみの寮の見えない計らいで今も繋がり人との出会いの不思議を感じます。カリタス友の会の方達とも繋がり、どんな小さな事にも忠実にこたえていたら、すぐに見える成果がなくてもいつの日か喜び合う日が来る事を信じるとともに、いつも友の会に寛大な応援をして下さる方々に感謝致します。(T.I.)

2023年の待降節が始まろうとしております。友の会員の皆様そして、いつも友の会をご支援下さいます皆様、今年も一年心温まるご支援を沢山頂戴致しましたことを、心より感謝を申し上げます。今年の異常気象は、将来の地球環境に不安を抱く程のものでした。大切な問題を抱えているのにも関わらず、世界の首脳陣の考えはまとまらず、課題は結論がはっきりせぬままになっております。かたや、ロシア、ウクライナの戦いは今も尚続いておりその上、パレスチナ・イスラエルの紛争までも起きてしまいました。子供や生まれたばかりの赤ちゃんを巻き込んだ一般市民の逃げ惑う映像は、見るに耐えられません。この争いを終結する方法は、ないのでしょか。大河の一滴の様に、私達一人一人の小さな祈りで、戦いの無い平和な地球を早く取り戻したいと切に願う2023年でした。(Y.M.)

イエスのカリタス友の会の活動、切手整理の日のご連絡、スモールクワイアのお知らせなどがイエスのカリタス修道女会のホームページでもご覧になれます。海外や日本で働くシスターたちの宣教活動、CDのお申し込み方法なども載せてありますので、ぜひご利用ください。<http://www.m-caritas.jp>

寄付金受入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会

郵便振替口座 00160-2-564970



発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草4-20-5

TEL: 03-3396-2171 FAX: 03-3396-2150

e-mail: tomonokai@m-caritas.jp

代表 山縣久美子 事務局長 片山久美子